

本学における日本史関連の出題については、①基本的な時代・語句の知識を身につけているかどうかを確認する、②基本的な知識を生かした論理的な思考ができるかどうかを確認する、の2点の意図をもって作成されている。

これらの力を測るために、年代や歴史用語などを空欄化して問う問題を設けるほか、正しい理解を示す選択肢を知識の組み合わせ力によって選ぶ設問を設けている。また、歴史素材である史料の正確な解釈ができるかどうかを問う問題にも力を入れ、とくに現代では日常生活から疎遠になった物品・習俗などを単なる語彙としてではなく、実体的に理解しようとする関心を備えているかどうかにも注目している。

[I期A日程]

大問1

7世紀末の基本事項を「日本という国家の成立」意識という点で俯瞰して見ることができるかどうかを問う。

大問2

史料問題。文意の正確な読み取りと具体的な物品への関心を問う

大問3

第一次大戦後の経済状況についての基本的理解を問う

大問4

1990年代以降の主な出来事。日本史の中で等閑に付されがちな現代社会への歴史的関心を問う。

[I期B日程]

大問1

13世紀前半の政治状況に関する基本事項の知識を問う

大問2

16世紀半ばの東国の政治状況に関する基本事項の知識を問う

大問3

7世紀後半、天武・持統朝の基本事項に関する知識を問う

大問4

明治初期の政権不安定時の政治状況に対する基礎知識を問う

大問5

昭和初期の軍部の台頭に関する基本事項を問う

[Ⅱ期・Ⅳ期Ⅴ]

日本史に関する基礎的な語句や理解を測るための問題を、原始から現代までの間で出題。

[Ⅲ期]

大問1

6世紀における倭国の対外意識と、それに連動する国内の勢力対立、また11世紀の荘園整理をめぐる政界の内部対立について、基本的事項の確認と史料の正確な読み取り力を問う。

大問2

室町時代から戦国時代への遷り変わりに関する基本的事項を、守護・大名の権力のあり方から問う。

大問3

近代におけるマスメディアの発達とジャーナリズムの展開、および教育制度の変遷に関して、基本的な事項を問う。